

ポーランド文化触れて

13日 詩の朗読など楽しむ会

北大

北海道ポーランド文化協会(安藤厚会長、90人)は13日午後2時から、札幌市北区北8西7の北大クラーク会館で、ポーランドの詩の朗読や音楽を楽しむ「午後のポエジア」を開く。両国の市民で交流を深めようと開かれ、今年で5回目。協会は「他国の文化に気軽に触れる機会」とし、来場を呼びかけている。

北大のポーランド人留学生と会員らが、ポーランドの詩と日本語訳の朗読を披露するほか、キーボード演奏や三味線の演奏もある。留学生のアレクサンドラ・ヤボロビッチ・ジムニさん(28)は「札幌の人たちはとても優しい。こうした機会に会えるのが楽しみです」と話す。

協会は文化や教育面で両



当日を心待ちにするアレクサンドラさん(中央)と北海道ポーランド文化協会の関係者

国の行き来を促進しようと1987年に設立。ポーランドに関する研究会や、音楽や映画、演劇などを紹介する催しを開いてきた。「午後のポエジア」は家族のいる留学生らも気軽に参加

し、故郷を思い出したり、日本文化への理解を深めたりする機会にしようと開催している。

入場無料。問い合わせは小林さん ☎090・2695・3880へ。(野呂有里)